

ひの研究・研修 ニュース

校内研究日③

児童生徒の実態を知るために

課題分析を通して実態把握と支援の具体化をしよう



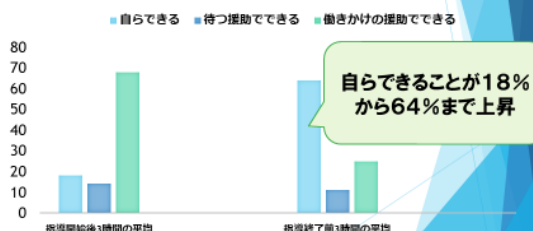
11月30日(月)、12月1日(火)の二日間に分けて、全職員対象に校内研究の3回目を行いました。今回のテーマは「課題分析」についてです。課題分析とは、ある活動をするときに、行動を細かく分類し、できることと、できないことを評価し、支援策を検討することを言います。試しに「料理」で課題分析をしてみます。料理は切ったり焼いたりする他にも様々な工程があります。漠然と「料理をできるようにしたい。」と思っても、どこでつまづいているのかわからないと具体的な支援ができません。そこで、料理の工程を細かく場面に区切って、課題分析表にしてみると右図のようになります。三段階で評価し、○は「できること」、△は「できつつあること」、×は「できないこと」とします。そう

料理を課題分析表にすると

行動	評価	備考
レシピで手順を確認	△	本たと指差しで順番を伝える必要あり
手を洗う	○	
ピーラーで皮をむく	×	
包丁で切る	×	
計量する	△	メモリが読み取れない
泡だて器で混ぜる	○	
フライパンで焼く	△	
机を拭く	○	
盛り付ける	○	

課題分析で評価をし、支援方法を再検討することを繰り返して3か月授業を実践してみると

評価シートを活用した支援の効果



することで、△の「できつつあること」の項目に対して、支援方法や手立てを具体的に考えることができ、「今後の目標」や「活動の目的」にすることができます。そのため指導の方針がぶれませんし、できるようになるべきポイントを観察するので、子どもの成長を確認することができます。

他校で課題分析をした結果を見ても、評価シートを活用して支援をすることで、自らできることが18%から64%まで上昇したことがわかります。

研究会では、課題分析についての説明を聞いたあと、課題分析を行っている様子のDVDを見ました。そして、その内容をもとに、実際に課題分析表へ記入して、参加職員で意見を出し合ったり確認し合ったりしました。研究会を通して、課題分析の視点を活用すると、具体的な目標が立てやすいということがわかり、課題分析の効果を感じることができました。現在行っている校内研究や日々の指導の中で、状況に応じて活用していきたいと思えます。

次回の校内研究日④は、「ABCチャート表を活用した行動分析」と「自立課題」の実践報告会になります。そして、校内研究日⑤は「5分間ミーティング」の報告会となります。実施後、様子を研究・研修ニュースでお伝えする予定です。



新採用教員による研究授業の感想

本校では、新採用教員をはじめ多くの教員が研究授業と研究会を行っています。計画から授業実践、事後の指導まで教員同士で検討し研究を重ねています。今回は、新採用教員の9月に行われた研究授業の感想を紹介します。

体育で「足を使ったボール遊び」の研究授業を行いました。ボールを蹴る前に片足で身体を支える練習やネットに入ったボールを蹴ってボールを蹴る動作に慣れる活動を取り入れました。これらの授業を通して、目標を達成するためにはそれまでの過程の設定も重要だということが分かりました。また、授業が進むにつれて児童が一人でボールを蹴ることができるようになったり、休み時間にボールを蹴る姿を見たりして嬉しく思いました。これからも児童が楽しく安全に活動できる授業を考え、行っていきたいと思います。

小2 山口 夏希

「みんなでお弁当を作ろう」という内容で、おかずのイラストが描かれたカードの中からお題のものと同じものを選ぶ、おつかい形式での授業を行いました。最初は私の説明力が足りず、趣旨が伝わりきらなかったりどうすればいいかわからずいたりする子どもの姿がありました。しかし周りの先生方に助言等いただき、子どもたち一人ひとりの実態を踏まえ、工夫をした授業を行うことができました。次回の研究授業では、反省点などを活かし、子どもたちにとって学びの経験となる授業を行っていきたいと思います。

小4 松村 雄斗

毎週金曜日に行っている、教室の掃除を取り上げました。繰り返し取り組むなかで、少しずつできることが増えていく生徒の様子がありました。そのような姿に勇気をもらいながら、より良い工夫や支援を考えることができました。また、周りの先生方との相談や事後の反省会を通して、今後の課題も明確にすることができました。今回の学びを生かしながら、日々の授業を行っていきます。

中2 菅野 純

一年間を通して行う「掃除」の研究授業を題材とし、研究授業を行いました。一人ひとりが今できること、課題点を常に理解し、どのような支援をすればいいのか考えました。クラス内の先生方にたくさんアドバイスをいただき、スモールステップを積み重ねられるような授業を心がけました。どのような支援や教材が必要なのか、日々学び続けることの大切さを改めて学ぶことができた研究授業でした。反省点を生かし、今後の授業につなげていきたいです。

高1 岡田 茜

今年度はコロナの関係で夏らしいことができなかった生徒が多かったため、「夏祭り」を授業で行いました。生徒が自分たちで夏祭りの看板や屋台を作り、興味関心ももてるようにしました。また、お客さん役とお店さん役に分かれることで、それぞれの役割をこなしながら、生徒同士のコミュニケーションが自然ととれるようになりました。個々の目標を達成しながら、楽しさを忘れることなく盛り上げることを一番に考え、コロナの中でも楽しい夏の思い出として残ってくれたらと思います。

高2 大田 剛士

横浜市立港南台ひの特別支援学校

Let's Study
for our Children.

研究研修係

小学部：金内 永島 日高 福井 山本し

中学部：藤田

高等部：小早川 佐藤 野田